



土地被覆

地球の緑の分布を知り環境問題について考えよう

土地被覆とは、地表面の状態(森林や土壌など)をあらわすもので、森林・草地は緑色系、土壌は茶色系で色分け表現しているので、緑が豊かな土地やそうでない土地が一目で解ります。また、どのような地域にどのようなタイプの緑が多いのかなど、地球の環境学習に役立てる事が出来ます。

本地球儀では、国際プロジェクト「地球地図プロジェクト」で作成された土地被覆データを使用しています。

●土地被覆の分類

	常緑広葉樹林	常緑広葉樹からなる。樹冠被覆率が40%以上で、樹高が3m以上。樹木作物が含まれる。
	落葉広葉樹林	落葉広葉樹からなる。樹冠被覆率が40%以上で、樹高が3m以上。樹木作物が含まれる。
	常緑針葉樹林	常緑針葉樹からなる。樹冠被覆率が40%以上で、樹高が3m以上。樹木作物が含まれる。
	落葉針葉樹林	落葉針葉樹からなる。樹冠被覆率が40%以上で、樹高が3m以上。樹木作物が含まれる。
	混合樹林	常緑広葉樹、落葉広葉樹、常緑針葉樹、落葉針葉樹が混在している。樹冠被覆率が40%以上で、樹高は3m以上。樹木作物が含まれる。
そりん	疎林	疎林からなる。樹冠被覆率が15% から40%である。
かんぼく	灌木	灌木地からなる。樹冠被覆率が15%以上で、樹高が0.3mから5mの間。
	草地	草の植生からなる。樹冠被覆率が15%以上で、樹高が0.03mから3mの間。
	草地(まばらな木を含む)	草の植生からなる。樹冠被覆率が15%以上で、樹高が0.03mから3mの間。まばらな木や灌木を含む。
	まばらな植生	まばらな草もしくは木の植生からなる。樹冠被覆率が1%から15%の間である。
	畑	草の作物からなる。水田は除く。
	水田	イネ科などの作物からなる。
	農地と自然植生の混合	少なくとも年間2ヶ月以上、4%以上の植生を含む地域。自然植生が人為的な植生に移りかわる。
	マングローブ	塩水の地域で、樹木の植生からなる。樹冠被覆率が15%以上。
	湿地	真水もしくは汽水の地域で、樹木または草の植生からなる。樹冠被覆率が15%以上。
	裸地、固結(礫、岩)	固結物に覆われた土地。
	裸地、未固結(砂)	未固結物に覆われた土地。
	市街地	少なくとも年間10ヶ月は4%未満の植生からなる非植生地。人間活動の結果の人工物で覆われている。
	氷雪	例年、9ヶ月以上永続的に雪または氷に覆われた土地。
	水部	人工的な水部、もしくは天然の水部。

※常緑樹・・・一年中緑の葉を付けている樹木。
※樹冠・・・樹木の枝や葉が茂っている部分。

※落葉樹・・・季節的に葉を落としている樹木。
※汽水・・・淡水と海水が混ざっている塩分の少ない水。

データ名：地球地図・グローバル土地被覆 出典：国土地理院・千葉大学・協働機関